



[IPN Home](#) | [Search](#) | [Order](#) | [Shopping Cart](#) | [Login](#) | [Site Map](#) | [Help](#)



JP6054101A2: ELECTRONIC NEWSPAPER

[View Images \(1 pages\)](#) | [View INPADOC only](#)

Country: **JP Japan**

Kind:

Inventor(s): **TAGA KIICHI**

Applicant(s): **TAGA KIICHI**
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

Issued/Filed Dates: **Feb. 25, 1994 / Aug. 3, 1992**

Application Number: **JP1992000206453**

IPC Class: **H04N 1/00; H04L 29/12; B42D 7/00;**

Abstract: **Purpose:** To most efficiently transmit newspaper information to each house by transmitting digital data transmitted from the central transmitter of a newspaper head office to a newspaper shop via a local station and transmitting it from each newspaper shop to each house.
Constitution: In a newspaper head office 1, a newspaper is transmitted by using digital codes with a telephone circuit from a central transmitter. As for these pieces of information, a first transmission is performed to a terminal station 2 corresponding to each local station. Then, a secondary transmission is performed from each terminal station 2 to each newspaper shop 3 and finally, a third transmission is performed from the shop 3 to each house 4. At every house, a modem 4 corresponding to the terminal equipment in a personal computer communication is provided and newspaper data is received at this place. The information is displayed on a CRT by a TV receiver for home use 5. The information is stored in the internal memory and an article can be displayed on the CRT by arbitrarily zooming and magnifying it. The necessary contents can be preserved by being stored in a floppy disk.
 COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

Other Abstract Info: **DERABS G94-105547 DERG94-105547**

Foreign References: **(No patents reference this one)**



Alternative



BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-54101

(43) 公開日 平成6年(1994)2月25日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00		Z 7046-5C		
H 0 4 L 29/12				
// B 4 2 D 7/00		8604-2C		
		8020-5K	H 0 4 L 13/00	3 1 7

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-206453

(22) 出願日 平成4年(1992)8月3日

(71) 出願人 000216254

田賀 喜一

兵庫県宝塚市野上4丁目14番9号

(72) 発明者 田賀喜一

兵庫県宝塚市野上4丁目14番9号

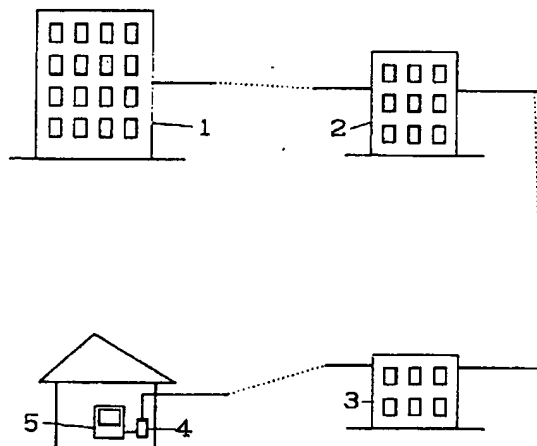
(54) 【発明の名称】 電子新聞

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 新聞の近代的合理化。

【構成】 1は新聞本社で、中央発信機があり、デジタルデータとなった新聞を発信する。2は地方局で、場合により地方的な記事を編集付加する。3はターミナル局で、新聞販売店に相当するものであり、各戸に近く、戸数も限られるので、電話回線の問題もない。4は各戸の端末機で、パソコン通信のモデムのようなものである。この内にはメモリーがあり、これで新聞データを受け入れる。5は家庭用テレビであり、端末機4のメモリーのデータを取り込んで、ブラウン管に新聞記事を出力する。この新聞記事は、任意にズーム拡大して、細かい字も楽に読める。

【効果】 新聞事業の合理化、環境問題の軽減、世界の情報化。



【特許請求の範囲】

【請求項1】新聞をデジタルコード化して、電話回線によって各戸に送達し、これを各戸の端末機でメモリーに入力する。このデータを家庭用テレビで閲覧し、必要な箇所は切りとって、端末機内のフロッピーデスクにセーブする機能を備えた電子新聞

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は新聞の近代化に関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在は毎日の二ユースが大量の新聞に印刷されて、これが多くの人手により、各戸に配達される。これは大昔の瓦版と大差のない現状である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】紙に印刷する方式は簡便であるが、多くのパルプにより木材資源を浪費し、森林破壊や、二酸化炭素ガスの増加による環境悪化の原因となっている。また新聞の配達システムは、多数の人間の労力の上に成り立っていて、この人件費は軽視出来ない問題である。更に読み終わった大量の新聞の、廃棄物としての回収処理も厄介である。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は新聞をデジタルコード化して、電話線によって各戸に配送するものであり、電話とテレビの普及によって、全国民が、このようなシステムで、毎日の二ユースを入手する素地が完成されてきている。我国では世界に先駆けて、パテントの電子化を完成し、電話線によりオンライン出願ができるようになった。パテントのようなものは、電子化が最も必要で、かつ有効なものであり、これが特許大国日本で最初に実現したのも、当然の帰結であろう。新聞の電子化も環境問題や人手の問題のみならず、新聞記事のデータベース化の点からも必然の方向である。本発明では各新聞社で新聞記事がデジタルデータとして、電話線によって送達される。これで各戸の電話機と連結された端末機に達する。この端末機はパソコン通信のモデム式のもので、これにメモリー、フロッピーデスク、家庭用テレビへの入出力装置などを有している。この端末機によって送られた新聞をテレビのブラウン管に写し出す。この場合ズーム能力を持たせ、新聞の任意の場所を見易く拡大することは、常套機能として期待できる。またフロッピーに保存したい部分は、カットアンドペーストで編集してセーブすることも、比較的一般化した機能であり、家庭用テレビでも大きな価格の増加なしに可能である。テレビ番組の指定は、番組欄をズーム拡大して、カーソルで指示するなどの簡便で近代的な方法が利用できる。ビデオの予約なども同様に便利に実行可能となる。

【0005】

【実施例】実施例について図面を参照して説明する。図1は本発明実施例の全体システム図である。1は新聞本社であり、中央発信機があり、デジタルデータとなった新聞を発信する。これを直接、最終需要家の各戸に発信するのは、膨大な電話線を専有することとなるため、各地方局を設け、これに第1次発信を行ない、続いて新聞販売店に相当するターミナル局への、第2次発信を行ない、最後に各戸への第3次発信を、ターミナル局が行なうのである。2は地方局であり、場合により地方的な記事を編集付加する。3はターミナル局であり、新聞販売店に相当するものであり、各戸に近く、戸数も限られるので、電話回線の問題もない。4は各戸の端末機であり、パソコン通信のモデムのようなものである。この内にはメモリーがあり、これで新聞データを受け入れる。5は家庭用テレビであり、端末機4のメモリーのデータを取り込んで、ブラウン管に新聞記事を出力する。この新聞記事は、任意にズーム拡大して、細かい字も楽に読める。新聞記事のスクラップ作業も簡便に電子化され、ブラウン管上で、任意にカットアンドペーストして編集された必要部分が、フロッピーデスクにセーブされ、スクラップブックのようなスペースを要しない。また本発明は新聞をデータベースのように利用できる形態に容易にできて、少しの経費の追加で、パソコンのようなデータの検索もできる。テレビやラジオ番組欄の検索は、本システムの最適の機能であり、番組欄のズーム拡大により、明瞭に見ながらカーソルで指定したり、チャンネルや時刻の指定で選定することも簡単である。

【0006】

【発明の効果】本発明では毎日確実に大量消費される新聞紙が不要となり、その廃棄物としての古紙の処理の問題や、パルプとして伐採される森林による、炭酸ガス増加の環境問題などが大いに軽減される。さらに新聞配達員の不要化による、人手の削減、人件費の低減による経営の合理化が達成される。本発明は外国新聞にも適用され、海外の新聞が、その日の内に各戸に着信して、世界の最新の情報が入手できる。最近ではモデムも高速化され、情報伝達の手段として、最も効率の良い方法が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子新聞の全体システム図である。

【符号の説明】

- 1 新聞本社
- 2 地方局
- 3 ターミナル局
- 4 端末機
- 5 家庭用テレビ

【図1】

